

# 東欧ユダヤ人の音楽 「クレズマー」をめぐる対話

ヘンリー・サポズニク氏に聞く、  
バンド活動とアーカイヴとワークショップ



© Cookie Segelstein

2018年4月7日(土) 14時30分~17時15分  
東京外国語大学 本郷サテライト 5F セミナールーム  
【入場無料】

リヴァイヴァルから 30 年を経た今日もなお、新たな展開を見せつづける音楽「クレズマー」。

このリヴァイヴァルを、ミュージシャンとして牽引するばかりか、過去の作品を発掘して、CD のリイシューとアーカイヴの構築に携わり、生きた先人たちを現在のステージに復活させ、ワークショップを通して未来への橋渡しもされた、リヴァイヴァルの第一人者ヘンリー・サポズニク氏に、長年にわたる活動を語ってもらいます。

### ヘンリー・サポズニク(Henry Sapoznik)氏のプロフィール

1953 年に、ユダヤ教のカントールのご子息として、ニューヨークで生まれる。母語はイディッシュ語。現地のユダヤ学研究所 YIVO のレコード・アーカイヴで、初代ディレクターを務め、"Yiddish Radio Project"を推進した。1985 年からはワークショップ"KlezKamp"をスタートさせる。1987 年にはクレズマー初の本格的楽譜集"The Compleat Klezmer"を、1999 年にはクレズマー研究の嚆矢となる単著"Klezmer! Jewish Music from Old World to Our World"を発表。サポズニク氏は、自身の設立した"Living Traditions"で、生きた先人たちをステージに復活させ、数々の旧録・新録を CD にしてリリースした。氏自身もバンジョー奏者としてクレズマー・バンド"Kapelye"に加わった。文字通りクレズマー界の"Living Dictionary"のような存在。

14:30-14:45	開場
14:45-15:00	黒田晴之(松山大学教授)「東欧ユダヤ人音楽の研究史 エンゲルからサポズニクまで」
15:00-16:00	ヘンリー・サポズニク「バンド活動とアーカイヴとワークショップ」
16:00-16:15	三代真理子(東京藝術大学音楽学部非常勤講師)「コメント」
16:15-16:30	質疑応答
16:30-16:45	休憩
16:45-17:15	サポズニクによる音楽の実演(友情出演あり)

(使用言語は基本的に英語で、部分的に日本語を用います。)



### 東京外国語大学 本郷サテライト

地下鉄 (丸ノ内線・大江戸線) 「本郷三丁目」 駅下車徒歩 5 分  
JR 中央線・総武線 「御茶ノ水」 駅下車徒歩 10 分